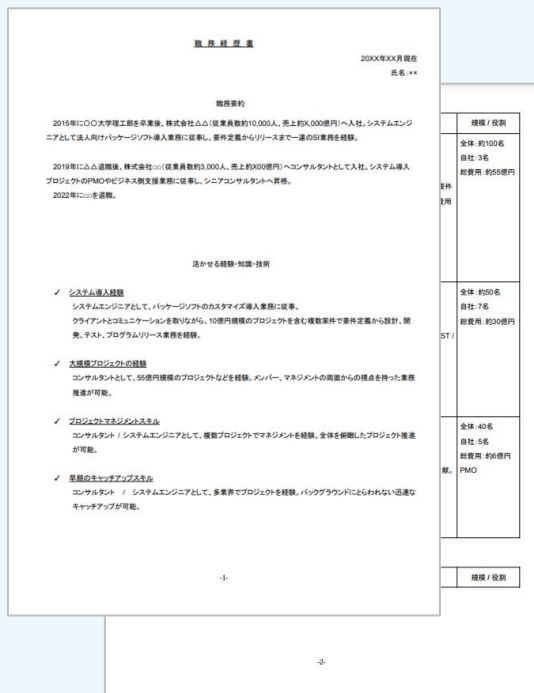


単価の上がる職務経歴書の書き方

by  Consulting Studio

職務経歴書の構成要素は (A)職務要約, (B)経験/知識, (C)経歴詳細 の3つ。案件参画/単価決定の決め手となる「経歴詳細」を中心に構成した上で、読み手の興味を惹く「職務要約」を目指す

構成要素	重要度 参考	概要とポイント
<p>A</p> <p>職務要約</p>	<p>中</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多忙なクライアントがまず目を通すパートで、続きを読むかどうかの判断材料になる 読み手に興味を持たせることが重要となるため、学歴/職歴/職位など分かりやすいアピールポイントは目につくように、経験/知識は端的にまとめる
<p>B</p> <p>活かせる 経験/知識</p>	<p>低</p>	
<p>C</p> <p>経歴詳細</p>	<p>高</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参画可否や単価を決める上で、経歴詳細が最重要 業界・規模感、目的・テーマ、メンバー構成と自身のロールなどプロジェクトの背景情報を明記した上で、自身の工夫や成果を具体的に記載する



単価UPのポイントは7つ。職務経歴書の骨子はいくまで「経歴詳細における役割や成果」だが、アピール可能なポイントは該当するパートで漏れなく記載するとよい。 アピールが難しい場合は記載不要（中長期的な戦略として、7つのポイントをより多く満たせるような経歴づくりも重要）

該当パート	ポイント	アピール例
A 職務要約	① 学歴・職歴	<ul style="list-style-type: none"> 有名大学/有名企業出身である 希望案件の業界/テーマにフィットする経歴がある
	② 職位	<ul style="list-style-type: none"> マネージャー/リーダー経験がある 20代でマネージャーに昇進している
B 活かせる経験/知識	③ 資格/語学力/その他経験	<ul style="list-style-type: none"> PMPや簿記など汎用性の高い資格を有する 英語の読み書きだけでなく、ビジネスレベルの英会話が可能
C 経歴詳細	④ 金額/人数規模	<ul style="list-style-type: none"> (金額/人数面で) 大規模プロジェクトへ参画した経験がある
	⑤ チーム構成/ロール	<ul style="list-style-type: none"> マネージャー/リーダーとして複数領域を横断・推進した経験がある
	⑥ 顧客折衝	<ul style="list-style-type: none"> 役員/事業部長クラスなど上位レイヤーの顧客折衝経験がある
	⑦ 参画期間/テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 参画案件は長期（6か月以上）が多い 参画案件のテーマに一貫性がある

職務経歴書

20XX年XX月現在
氏名: **

職務要約

2015年に〇〇大学理工学部を卒業後、株式会社△△(従業員数約10,000人、売上約X,000億円)へ入社。システムエンジニアとして法人向けパッケージソフト導入業務に従事し、要件定義からリリースまで一連のSI業務を経験。

2019年に△△退職後、株式会社〇〇(従業員数約3,000人、売上約X00億円)へコンサルタントとして入社。システム導入プロジェクトのPMOやビジネス側支援業務に従事し、シニアコンサルタントへ昇格。

2022年に〇〇を退職。

活かせる経験・知識・技術

- ✓ **システム導入経験**
システムエンジニアとして、パッケージソフトのカスタマイズ導入業務に従事。クライアントとコミュニケーションを取りながら、10億円規模のプロジェクトを含む複数案件で要件定義から設計、開発、テスト、プログラムリリース業務を経験。
- ✓ **大規模プロジェクトの経験**
コンサルタントとして、55億円規模のプロジェクトなどを経験。メンバー、マネジメントの両面からの視点を持った業務推進が可能。
- ✓ **プロジェクトマネジメントスキル**
コンサルタント / システムエンジニアとして、複数プロジェクトでマネジメントを経験。全体を俯瞰したプロジェクト推進が可能。
- ✓ **早期のキャッチアップスキル**
コンサルタント / システムエンジニアとして、多業界でプロジェクトを経験。バックグラウンドにとらわれない迅速なキャッチアップが可能。

1. 学歴・職歴

- ブランド力のある有名大学/上場企業出身の場合は必ず記載。他にも、案件先にアピールできる場合は記載
※AI関連の案件に参画したい場合、AIベンチャー等は記載すべき
- コンサルファーム/Sierの出身者は企業名を明記すると効果的

2. 職位

- 過去の役職や肩書は、単価を左右する重要な指標
- 若くして管理職に就いた場合は明記すればアピール材料になる

3. 資格/語学力/その他経験

- プロジェクトマネジメントやIT関連の資格はできるだけ網羅的に記載
- 語学力は「読み書きのみ」「ビジネス会話可」などレベルを明記(TOEIC等のスコアのみ記載することは避ける)。
- 開発経験が少しでもある場合は、具体的な言語や役割を記載

● 2019年10月～現在 株式会社〇〇

期間	職務内容	規模 / 役割
2021年12月 ～ 現在	<p>鉄道会社向け予約 / 搭乗システム刷新支援</p> <p>【プロジェクト概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道会社での予約 / 搭乗システム刷新へ向けた支援。 限られたIT投資予算枠に収めるため、ベンダーとの費用調整やユーザとの要件毎の費用対効果のすり合わせをすることで、当初予算の約3倍あった要件/費用を枠内に収めることに寄与。 <p>【担当内容、フェーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> フェーズ: 要件定義～設計 担当内容: PMO 	<p>全体: 約100名</p> <p>自社: 3名</p> <p>総費用: 約55億円</p>
2021年4月 ～ 2021年11月	<p>大手小売業向け会計システム刷新支援</p> <p>【プロジェクト概要 / 自身の寄与ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大手小売業における会計システム刷新へ向けた支援。 複数にまたがるユーザ部門担当者と細かくコミュニケーションを取り、円滑なST / UAT推進に寄与。 <p>【担当内容、フェーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> フェーズ: ST～稼働 担当内容: ベンダでのST進捗管理、UATの推進 	<p>全体: 約50名</p> <p>自社: 7名</p> <p>総費用: 約30億円</p>
2019年10月 ～ 2021年10月	<p>鉄道会社向けモバイル決済アプリローンチ支援</p> <p>【プロジェクト概要 / 自身の寄与ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道会社における、モバイル決済アプリのローンチ支援。 Sierでの経験を活かし、システム側の知見を持ったビジネス側PMOとして貢献。 <p>【担当内容、フェーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> フェーズ: 要件定義～稼働 担当内容: PMO、稼働支援 	<p>全体: 40名</p> <p>自社: 5名</p> <p>総費用: 約6億円</p> <p>PMO</p>

4. ロール / チーム構成

- 同じ案件でもリーダーなのかメンバーなのか、何人チームでどんな立ち位置だったかを明記
- 担当範囲が具体的にわかると、スキルや経験が正しく評価されやすい

5. 規模感 (金額 / 人数)

- 案件規模が大きいほど関係者が増え、難易度が高いと見なされる。金額や人数、ベンダー数などはできるだけ具体的に伝える
- 規模感を数字で示すと経験をよりイメージしやすくなる

6. 折衝対象の職位

- 顧客折衝経験がある場合、どのレベルの意思決定者と交渉していたかを明記。相手の職位 (役員/部長など) が高いほど重要なポジションと見なされやすい

7. 「6ヶ月以上」の案件経験を積む

- 長期の実績がある場合はしっかりアピールし、そうでない場合も納得感のある説明が大切
例: マネージャーから高評価を得て、より難度の高い案件にピボットした
- 戦略案件等を除き、短期案件 (半年未満) が多い方は「評価が低くてリリースされたのでは?」と見なされるため要注意

単価の上がる職務経歴書の書き方

発行日：2025年3月1日

発行者：Acrosstudio株式会社

- ※本レポートを無断で複写、複製(コピー)、引用することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。また代行業者等の第三者に依頼してWEB上で公開するなどすることは、たとえ個人の利用であっても一切認められていません。
- ※本レポートは、一般的なガイダンスの提供のみを目的としており、詳細な調査や専門的な判断の実行の代用とされることを意図したものではありません。Acrosstudioは、本書を信頼した結果として組織または個人が被ったいかなる損失についても、一切責任を負わないものとします。
- ※本レポートの中で使用されているデータは、第三者のソースから得られている場合があります。Acrosstudioはかかるデータに対する独自の検証、妥当性確認、または監査は行っていません。かかるデータを使用して得られた結果は「そのままの状態」で提供されており、Acrosstudioは明示的にも黙示的にも、それを明言したり保証したりするものではありません。